

農協だより

2023. 1 月
No.619

たいき

謹賀新年

役員道外視察研修
8ページ



女性部
視察研修
9ページ



年金友の会
文芸・ゲームの集い
10ページ





協同組織の結集を図り 農業・地域経済の早期回復を願って

大樹町農業協同組合

代表理事組合長 坂井 正 喜

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃よりJA事業運営に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの猛威が長期化し、依然として感染者数の増大、北海道においても過去最大の人数を記録するなど、収束に至る気配は一向に見えない一年となりました。コロナ禍で政府は感染拡大防止よりも、経済活動の回復に重きを置いた対応を展開していますが、コロナ以前の経済状況には至らず、一昨年に増して厳しい農畜産物の消費の低迷となりました。乳製品に限っては、飲用向けは冷夏の影響もあり消費は前年を下回り、更に11月から乳価改定による飲用乳の値上げもあり、消費動向については引き続き懸念される状況にあります。脱脂粉乳・バター向け在庫については、生産者各位の生産抑制のご協力並びに、全国協調在庫対策・ホクレン対策を講じバターは前年対比増を見込みますが、脱脂粉乳は在庫減を見込める状況であります。本年につきましても、非需要期の処理不可能乳発生回避に向け、需要の拡大、乳業の処理協力、消費拡大対策等、全国的な連携対策が求められますが、酪農家各位におかれましても、契約数量の順守に引き続きご協力をお願い申し上げます。また、農業に影響

役員

専務理事 太田 福司

理事 西川 久雄

理事 山下 善一

理事 水野 義博

理事 畔木 主

理事 山下 益雄

使用人兼務理事 浅野 邦雄



年頭のご挨拶

響を与えます国際紛争や国内経済の低迷によって急激な円安の進行が問題ともなりました。肥料・飼料をはじめ、ありとあらゆる生産資材の高騰は、過去に例を見ない状況であり、私たちの農業経営に深刻な問題となりました。一刻も早い沈静化、経済の回復が図られ、国内農業はもとより地域経済の活性化が図られることを願うばかりであります。組合員皆様の生産基盤の更なる強化と協同の力を一層結集し、この難局を乗り越えて参りましょう。

このような状況の中、昨年の農畜産物の生産をみますと、雪解けが早く春作業は順調に進み、五月までの干ばつが心配されましたが、六月以降の降雨もあり一番草は良質粗飼料の収穫となりました。しかしながら、その後は曇天、多雨により二番草の収穫は大幅に遅れました。飼料用とうもろこしは倒伏被害の影響は無かったものの、天候不順の影響から、収量・品質が不安視されましたが、一定程度の収量と良質飼料の確保となりました。畑作物におきましては、生育期の日照不足、多雨により小麦は7・6俵、小豆は、さび病、落葉病の発生により小粒、てん菜についても褐斑病、黒根病での低糖分、馬鈴しょも小玉傾向となり、野菜類についても市況相場に恵まれたものの、平年作を下回る収量となりました。改めて天候を相手にする農業の難しさを痛感する一年でありました。本年がすばらしく天候に恵まれ、実りの秋となることをご祈念申し上げます。

さて、本年は「第10次地域農業振興計画」の2年目となります。前述しましたとおり、農業を取り巻く状況は本年も厳しいことが予測されますが、この状況下の中こそ、協同組織の結集を図り、互いに協力し力を合わせることが求められます。農業振興計画に掲げました「持続可能な農業の構築」、「協同の力を結集して豊かな未来の実現」に向け、共に進んで参りましょう。JAとしても実現に向けて邁進する所存で御座います。組合員皆様におかれましても、一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。令和5年が組合員の皆様にとって、輝かしく実り多い一年となることをご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

代表監事 坂根昌幸

監事 藤原幸一

常勤監事 河村俊彦

参事兼務理事 角屋貴之

他職員一同

酪農部会長 田中伸一

畑作部会長 立川敏広

園芸部会長 高場得光

種子生産部会長 菊地繁雄

和牛生産改良組合長 岡本透

年頭のご挨拶



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長

小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。改める次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雪、8月の記録的

な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。が、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、J Aグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安

定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回J A北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があると。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、J Aグループが提唱する、自国の国民

が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参ります。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和5年の年頭にあたり



大樹町農民協議会
会 長
水 下 英 治

年頭のご挨拶

農業者にとって良き農政になることを願って

新年明けましておめでとう
ございます。

盟友の皆さまには、ご家族
と共に新年を迎えられました
事を心よりお慶び申し上げます。

昨年は引き続き新型コロナ
ウィルスの影響もあり不自由
な生活を送られたと思います。
そのような中、ロシアによる
ウクライナ侵攻が起こり、円
安の煽りも相まって輸入物資
の高騰が続く、国民生活に大
きな影響を与えています。農
業者においても、飼料・肥料

や原油などの物価高騰等農
に多大なる影響を与えました。

政府は対策を次々と実施して
いるものの、これと言った支
援対策になっていないと思い
ます。

特に酪農に関してはコロナ
禍の影響で生乳生産の抑制と
なり、積み上がった乳製品の
在庫削減に向け独自対策を取
り組むこととなりました。ま
た、夏ごろからは育成・初妊
の価格も下落し、これからの
営農の不安が増すばかりの状
況となりました。

農産においても、肥料・燃
料・物資の高騰により苦しい
状況になると思われます。

そのような中、当協議会は
十勝・北海道農民連盟の一組
織として農家やJA大樹町、
大樹町ほか連携機関等、機能
が損なわれないように強く求

める活動を行ないたいと思
います。

先の見えない世界情勢や国
の政策はありますが、農業者
にとって良き農政になります
ように取り組んでいきたいと
思いますので、盟友の皆さま
にはご理解とお力添えをお願
いしたいと思います。

最後になりますが、今年は
皆さまにとって良き年となり
ますよう、ご健勝とご多幸を
祈念申し上げて新年の挨拶と
させていただきます。



役 員

会 長	水 下 英 治	地区執行委員 ／酪対委員
副 会 長	鈴 木 輝 彦	税対委員長 (青申会長)
副 会 長	白 取 雄 二	酪対委員長
事務局 長	村 瀬 正 紘	畑対委員長
常任委員	森 田 稔	酪対委員
常任委員	堀 敏	酪対委員
常任委員	廣 瀬 洋 司	酪対委員
常任委員	白 石 慎 一	畑対委員
常任委員	戸 梶 伸 一 郎	税対委員
代表監事	村 崎 隆 一	税対委員
監 事	辻 本 洋 平	畑対委員
監 事	鈴 木 和 昭	税対委員
監 事	坂 本 裕 二	畑対委員

年頭のご挨拶



J A 大樹町青年部
部長
半田 佑介

新年あけましておめでとう
ございます。組合員、盟友の
皆様におかれましては、晴れ
やかな心もちで素晴らしい新
年を迎えられた事とお慶び申
し上げます。

昨年を振り返りますと、ま
だまだ感染症の影響下にある
日々が続いておりますが、一
昨年から比べると、少しずつ
活動的な一年となった事に少
し安堵いたしました。

小学3年生を対象にした食
育事業は、通常通り一年を通
して開催できました。小学生

が作ったジャガイモを使った
料理を町内の飲食店に提供し
ていただくなど、発展的なチ
ャレンジもでき、我々青年部
におきましてとても刺激的
な活動になりました。

酪農体験は残念な事に新型
コロナウイルス感染症の影響
により中止になってしまいま
したが、本年こそは実施した
と思います。

町内の保育園を対象とした
農業体験事業は無事に実施で
き、バターづくり・トラクタ
ー試乗体験・模擬牛での搾乳
体験などを通じて例年通りの

子供たちの笑顔を見ることが
できた事はとても嬉しいもの
でした。

11月には、J A 青年部十勝
大会が3年ぶりに開催され、
我々青年部も実績発表大会と
30秒CMコンテストなどに参

加してきました。久しぶりに
十勝管内の盟友たちと会うこ
とが出来た事はとても有意義
な時間になりました。

部長に任命されてからもつ
とも力をいれて行ってきた小
学校の食育事業を実施でき、
なおかつ町内の飲食店とも協
力して新たな試みにチャレン
ジ出来た事に部員はじめ小学
校、協力してくださった飲食
店の皆様に感謝しています。
今後も食育事業をさらにいい
事業にしていきたいと思っ
ています。

最後になりますが残された
任期でもっと活動的な青年部
活動に出来る様に模索してい
く所存でございます、皆様の
ご理解とご支援を来年度の活
動に繋げていけるように頑張
りますので、本年も何卒よろ
しくお願い申し上げます。

活動的な一年にしていく

役員

部長	半田 佑介
副部長	阿部 真基
副部長	山口 寿斗
理事	高松 佑樹
理事	金 曾 秀 則
監事	半谷 勇 人
監事	菊地 陽 介



J A 大樹町女性部
部 長
姉 崎 美 紀

年頭のご挨拶

女性部創立70周年目の節目

新年明けましておめでとうございませう。日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆様はもとより、関係機関、気持ち良く活動に送り出して下さる家族等多くの方々のご温かいご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年は一向に終息を見せないコロナ禍の中、ウクライナ戦争が勃発し、世界経済が大きな荒波に揉まれました。その煽りを受け、私達を取り巻く農業情勢も肥料飼料資材の高騰でかつてない深刻な状況となりました。今年こそは明るく、未来を語れ

る年になれば良いなと願う次第です。

さて、ここで女性部の活動を振り返りたいと思います。昨年 J A 全国女性協は新3ヶ年計画「想いを一つに かなえよう」をスローガンにつながらう・まもう・かかわろうの三つの目標を発表しました。持続可能な開発目標（SDGs）に取り組み、国産農畜産物の良さを伝えていきます。

それを受け、3月に新役員体制となった大樹町女性部もウィズコロナを合言葉に活動できる事はないかと模索してきました。

現在女性部はミドル、すずらん会、エルダーミセスの三部体制で活動しています。

ミドルの活動では、環境美化運動の一環でSDGsの観点からプラスチックゴミの分別についてお話を聞き、生活健康講座では防災を考え、ハザードマップについて学ばせて頂きました。

今後身近な防災について考えていきたいと思います。視察研修旅行では管内の道の駅をめぐり、食育料理講習会は学生にチーズを配るなどへ変更し実施しました。今後は冬期運動会、料理講習会、しあわせ会など規模縮小で計画していきます。

すずらん会は若手女性達のグループですが、会員交流を中心に、恵庭への視察研修旅行、ミニバレー大会、料理講習会などを行なっています。

エルダーミセスは先輩達の集まりで月1回程度活動しております。昨年は広尾つつじ見学、鹿追紅葉狩り、ふまねつと運動等、少人数の利点を生かし積極的に活動しております。

また、本年は大樹町女性部70周年の節目にあたります。コロナや世情を見ながら70周年に相応しい活動を考えていきたいと思っておりますので、更なるご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

役員

部 長	姉 崎 美 紀
副 部 長	井 戸 川 美 子
理 事	三 木 睦 子
理 事	藤 原 あ ず さ
監 事	堀 川 智 子
監 事	穀 内 節 子

農協役員

— Jミルクほか3社を視察 —

道外視察研修

農協役員協議会では、11月8日から11日までの4日間の日程で道外視察研修を実施した。

新型コロナウイルスにより4年ぶりの視察研修となり、今年度においては一般社団法人Jミルク、ホクレン大阪支店、JA全農ミートフーズ株式会社との3社を視察した。

◆**東京都 一般社団法人Jミルク**

全国の生産者団体23会員と乳業者団体、牛乳販売団体等で構成され、酪農乳業と乳製品の存在価値を高めるため共通課題の解決に貢献する組織である。

事業では主に「生乳・牛乳乳製品の需給見通し」、「乳製品の在庫対策」と「担い手の確保・育成や生産基盤強化への支援」「温室効果ガス削減等による持続可能な産業構築」を掲げている。

生乳動向については、現在の状況下における飲用乳価格改正もあり、需要低迷による年末年始・年度末時期の処理不可能乳発生が危惧される。過去の情勢



(一社) Jミルク

を見た場合、平成21年・25年の乳価改定時と比較しても、現在の状況は過去に類を見ない深刻な状況となっており、その背景にはコロナ禍以上にロシア・ウクライナ侵攻の影響が大きく、物財費を始めとした資材費高騰・円安相場の影響がある。

直近の乳価改定による生乳生産の影響は全体の4%減少が見通しであり、乳製品向処理量が4%増加すると試算している。そのうち脱脂粉乳は、全国を生産者、乳業者の協力による在庫

調整対策事業の実施、全国的な生乳生産の更なる抑制対策もあり在庫数量は前年度並みの見込みであり、バターにおいても需要の回復傾向が見られ前年度末と同水準と推察している。

チーズ向においては、国産チーズを後押しするには輸入チーズとの価格差を埋める必要がある。また、乳業者への処理能力に対する協議となるので、今後の国の支援が重要であるとの見解があった。

現在の需要状況を考えると、全国的な在庫調整対策事業は少なくとも、もう1年の実施が必要と見ており、今後の生乳生産動向の情報は年明けの1月頃に発信することとしている。なお、乳製品在庫積み増しに係る対応では、国としても輸出を考慮しており、今後情報発信される見通しであるが、輸出する品物により各検査項目等を考慮しながらの対応となる。

今後の情勢については、11月より飲用乳価格改定に伴う商品価格転嫁の状況であるが、牛乳販売数量が大きく落ち込むことが予想され、それ以外の成分調整、加工乳等の変動は少ないとしている。需給ギャップの早期改善に向けた取り組みとして、全国

的な生産抑制対策が重要である。

また、令和5年度に向けて国としても対策事業が検討される見込みで、併せて補助金・集送乳調整金に対する議論が展開される見通しであり、Jミルクとしても生産者の力になれるよう尽力することで研修を修了した。

◆大阪府 ホクレン大阪支店

大阪支店は、近畿・中四国の山口県を除く2府12県を主要エリアとして、米穀・卸米穀・雑穀・加工食品・園芸・てん菜・畜産・牛乳製品の8業種の販売業務を行ない、購買業務の事業は行っていない。販売力の強化・戦略として消費地の需要や産地の動向を把握し、生産者・JAの販売ニーズに対応し取引を推進することにより有利販売に繋げて農業所得向上に貢献する。

また、取引先との関係強化を図ると共に安定的な輸送手段の確保や保管を行い、コスト削減と販売機会の確保に努め事業展開をしている。特に関西圏では、取引先との関係強化の構築が重要な地域であると話されていた。

近年の取扱高の推移では、農産は60億円で大きな変動はなく、畜産では270億円を超え、年々微増、牛乳乳製品は90億円で微増の推移となっている。近況で



ホクレン大阪支店

はコロナ禍で家庭内特需もあったが、大阪府は観光客やサラリーマンの出張者が非常に多いため、現在もコロナ前の状況には完全に戻ってなく、お土産産業を始め、観光業、ホテル、外食産業においてはまだまだ厳しい状況にあるとのことだった。この様な中、ここ数年で大きく伸びているのが加工野菜や冷凍食品であり、コロナ禍での生活スタイルの変化により需要が増加している状況と見られている。

また、大阪府は古くから大手製菓メーカーが多いため、小豆類の消費量も多く道内産の大阪支店取り扱いシェアは32%程度となっている。豆類においてもコロナ禍により観光地を中心に土産物需要が落ち込んだ影響が



JA全農ミートフーズ(株)

大きかったが、徐々に回復基調であること、輸入小豆からの切替が進み需要の回復が見られていることから、今後は小豆の作付拡大をお願いしたいとの要望があった。

◆兵庫 JA全農ミートフーズ株式会社

兵庫県西宮市にあるJA全農ミートフーズ株式会社は全国農業協同組合連合会の100%子会社として、国産食肉の付加価値向上に取り組み国内畜産農家の経営の維持発展に貢献することを使命としている。また、昨今の国際情勢により国産食料の安定確保の重要性が高まっている中、あくまで国産にこだわりその価値を高めることにより国内畜産農家や消費者から高い支

持を得られ続ける取り組みを行なっている。

従業員数は約100人、売上高1000億円の規模であり、牛肉・豚肉・鶏肉を扱い販売先はスーパーや量販店、外食産業等としている。

研修では、「日本人の食の変遷」、「和牛枝肉の相場」、「食肉流通の概要」などの話を伺い、「食の変遷」においては、1人当たりの供給食糧／年の消費推移で、60年前では魚介類27・8kg、肉類3・5kgであったが、

年々と肉類消費が増加し2011年には肉類が魚介類を逆転し、さらに2020年には魚介類23・4kg、肉類33・5kgとなり魚介類は低下し肉類は増加傾向が続いている。

「和牛枝肉相場」では、A5ランクにおいて2008年から2014年にかけては2、100円／2、3000円/kgであったが、2015年からは2、600円以上で推移しており、これは2015年以降に「ふるさと納税」の返礼品とした動きが活発化し、大幅な増加となっているとの説明であった。

また、工場内を見学した際には、牛肉産地の質疑に対して、



大阪城で記念撮影

交雑牛は北海道産がほぼ100%（うち十勝産30%）、和牛は北海道産が30%（うち十勝産10%）程度の取扱いとのことであったが、他県と比べて道産和牛のブランド力はやや弱く価格にも転嫁されることから、道産和牛のPRを積極的に行い、十勝産牛の販売促進や普及に引き続き取り組んでいくとのことであった。

研修先の3社においては共通して、現状における厳しい農業情勢は十分に理解しており、関連会社として生産者の所得向上に向け日々業務にあたっており、視察研修を終えた。

女性部

女性部視察研修旅行

―管内日帰り―

JA女性部では11月24日、日帰りの日程で管内視察研修旅行を実施し、部員7名が参加した。出発はいくくの雨模様だったが、視察先では曇り空となり傘を差すことはなかった。

視察研修先、とち大平原交流センターでは「いただきますカンパニー」による豆クラフトを体験した。参加者全員でアイピローを作成。好きな豆を選び好みの重さに調整し、布袋に詰めた。布袋力バ

ーも、数種類から選り取り縫い合わせた。布袋力バーの中に豆の入った袋を入れ目元に置くことで適度な重量と豆の香りがほのかにして気持ちよかった。夏場は豆袋を冷やして使うことも出来る。これから季節は電子レンジで温めじんわりと癒やされたい。

場所を北海道ホテルに移し貸切会場で、トカチビーフラメンコを食べた。普段は家族優

先の部員達も次から次へと運ばれる料理とゆったりとした時間を楽しんでいた。

昼食後は土幌町と音更町の道の駅を巡った。部員達は家族へのお土産を両手に抱え充実した視察研修旅行となった。参加した姉崎美紀部長からは「コロナウィルスの影響で参加者は少なかったが、久しぶりに視察研修旅行が出来たことは良かった。」とバスの中であいさつし視察研修旅行を終えた。



素敵なアイピローが完成

年金友の会 文芸・ゲームの集い

11月18日、年金友の会（川原和夫会長）では、J A大会議室において文芸・ゲームの集いを開催した。

川原会長、坂井組合長の挨拶のあと、大樹町役場 保健福祉課高齢者支援係 千田 真紀子氏を講師に生活健康講座を行なった。

生活健康講座終了後には、ゲーム大会（カローリング・ビンゴ大会）で大いに盛り上がりを見せていた。

約2年ぶりの開催となり、参加者たちは久しぶりの再会にとっても嬉しそうに会話をしながら楽しんでいた。



カローリングでは接戦も多く盛り上がっていました！

肥料高騰対策事業説明会の開催

11月17日、J A大樹町大会議室において営農部農産課により肥料価格高騰対策事業説明会が開催された。

この事業は、肥料価格の高騰による農業経営の負担ができるだけ軽減されるよう、化学肥料を購入する農業者に対する緊急的な支援として農業経営への負担軽減を図る事業であり、内容は多少変わってくるが道の事業と国の事業の2種類がある。

当日は、農産課池浦課長が道と国の事業概要を説明し質疑応答を行なった。

その後、

希望者には申請書や化学肥料低減計画書に記入する時間を設け説明会は終了した。



説明会のようす

高校生インターンシップ を実施！

11月10日と11日の2日間の日程でJ A大樹町では高校生を対象にインターンシップを行なった。

大樹高校1年生1名を受入れ、初日は本所説明や事務作業、生乳検査室での検査業務を体験してもらった。

2日目は、農産課による選果場見学や生産資料課での配送体験を行なった。

2日間の日程を通して参加した生徒は、「実際に生乳検査室で検査体験を行なえて楽しかった。生産資料課事務所での農薬や資材の量に驚いた。」などと話していた。



生乳検査室にて検査方法などを説明



2023年は卯年



今年で12歳になるうさぎ年キッズをご紹介します。
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



【振別地区】
すみくら ななこ
角倉 七虹ちゃん

(H23.7.25生まれ)

勉強を頑張りたいです！



【中島地区】
とえだ ゆあ
戸枝 結愛ちゃん

(H23.5.14生まれ)

勉強とスケートを
頑張りたいです！



【萌和地区】
むらさき ちさ
村崎 千紗ちゃん

(H23.1.15生まれ)

勉強と部活、バトンを
頑張りたいです！



【拓北地区】
ゆはら ひかり
柚原 光莉ちゃん

(H23.9.7生まれ)

陸上をやっているので
短距離をもっと早く、
高跳びを今年よりも高
く跳びたい！



【振別地区】
おおさ こ けいご
大左古 恵悟くん

(H23.1.13生まれ)

勉強と部活を両立させ
ていきたいです！



【振別地区】
おおさ こ しょうご
大左古 祥悟くん

(H23.1.13生まれ)

中学生になるので小学
生の時より礼儀正しく
授業を受ける！



【上中島地区】
つじもと けんご
辻本 賢悟くん

(H23.8.13生まれ)

プログラミングを
頑張りたいです！

若手職員紹介

コロナ禍でマスク姿しか見たことない…なんて方もいるはず！
みなさんに覚えてもらいたいのので30歳以下の職員を紹介します！

生年月日 平成10年5月3日
出身地 中札内村
好きな食べ物 アイス、辛い物
趣味 ドラマ鑑賞、音楽をきくこと、ソフトテニス
写真について 思い出の1枚です！



信用共済部 貯金課
まつした
末下 梨沙



生年月日 平成9年4月10日
出身地 帯広
好きな食べ物 ローストビーフ
趣味 車・アイスホッケー
写真について 6月の洞爺湖マングアニメフェスタにて展示したときの写真です。



事業部 燃料課
すぎうら
杉浦 健太



詐欺的定期購入トラブルに引き続き注意！

トラブル回避の基礎知識

国民生活センター相談情報部 ● 山縣真里



通信販売の詐欺的な「定期購入」に関するトラブルが続いています。
【事例】スマートフォンで動画を見ていたら、美白効果のある歯磨きジェルが広告が表示された。「定期縛りなし」「初回550円」とあったので、販売サイトで注文した。初回だけで解約すればいいと思い、商品が届いた後すぐに販売業者に電話で解約を申し出たら、「4回継続が条件の定期購入コースの契約になっている」と説明された。広告に「定期縛りなし」と記載されていたと伝えたが、「(特別割引クーポンを利用する)」というボタンを押してコースを変更しているため、4回分約4万円の商品を購入しないと解約できない」と言われた。注文完了後に割引クーポンが表示され、ボタンを押した記憶はあるが、コースが変更されたとは思わなかった。初回だけで解約したい。

2022年6月1日、「詐欺的な定期購入商法」トラブルに対処するため、規制が強化されました。インターネット通販では「最終確認画面」(その画面内にある申し込みボタンをクリックすることで申し込みが完了する画面)に、①商品の分量②販売価格③支払いの時期・方法④引き渡し時期⑤申し込みの撤回・解除に関する⑥申込期間(期限がある場合)——を表示することが義務付けられました。販売業者が上記の内容を表示しなかったり、不実の表示や誤認させるような表示をしたりしたことで、消費者が誤認して申し込みした場合、契約の取り消しができる規定が創設されました。

事例のケースでは、変更したコースの「最終確認画面」に4回継続が条件であることや総額が約4万円であることなどの表示があったとしても、明確に記載されていなかったり、消費者が誤認するような表示だったたりした場合には、改正特定商取引法により、契約を取り消せる場合があります。

インターネット通販では「最終確認画面」の表示内容を十分に確認し、スクリーンショットなどで必ず画面を保存しておきましょう。

年末・年始の組合業務

は営業日

部 門	月 日	12/29	12/30	12/31	1 / 1	1 / 2	1 / 3	1 / 4	1 / 5	1 / 6	年末仕事納め	年始仕事始め
		木	金	土	日	月	火	水	木	金		
企 画 管 理 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
経 営 相 談 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
貯 金 課			ATM ~18:00					ATM ~17:00	ATM ~17:00	ATM ~17:00	12/30 17:00	1 / 4 (水)
共 済 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
酪 農 畜 産 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
(生乳検査業務)			8:30~12:00								12/29 17:00	1 / 6 (金)
生 産 改 良 課												
農 産 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
生 産 資 材 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
燃料課	セルフ給油所			~17:00		8:30~ 17:00	8:30~ 17:00				12/31 17:00	1 / 2 (月)
	カーケアセンター									8:30~ 17:00	12/29 17:00	1 / 6 (金)
農 機 車 両 課											12/29 17:00	1 / 6 (金)
子会社 大樹貨物			~12:00								12/30 12:00	1 / 6 (金)

貯 金 A T M	12/30(金)午後6時まで、1 / 4 (水)~6 (金)午後5時まで
授 精 業 務	12/31~1 / 3の授精出動は午前7時30分より、授精受付は午前11時までとなります。
生 乳 検 査 業 務	12/31、1 / 3の9時まで搬入したサンプルは体細胞・抗生物質共に当日検査 12/30、1 / 1・2・4・5の午前9時まで搬入した分は、抗生物質検査のみ当日検査
生 乳 集 荷 業 務	平常どおり
初 生 ト ク 集 荷	年末ご用納め 12/29(木)、年始ご用始め 1 / 6 (金)
一 般 廃 用	年末は、12/26(月)と畜分で終了。年始は、1 / 6 (金)から受付します。
病 畜 処 理 場	年末ご用納め 12/26(月)、年始ご用始め 1 / 5 (木)
レンダリングプラント	年末ご用納め 12/30(金)受付 午前9時まで、自搬入は12時まで 年始ご用始め 1 / 5 (木) 死亡畜発生 の 都 度 F A X で 申 込 (☎ 0155-37-4623 北海道環境衛生社)
燃料課	セルフ給油所 年末ご用納め 12/31(土)午後5時、年始ご用始め 1 / 2 (月)・3 (火) 午前8時30分から午後5時まで営業
	カーケアセンター 年末ご用納め 12/29(木)午後5時、年始ご用始め 1 / 6 (金) 午前8時30分から午後5時まで営業

理事会の動き

第10回 11 / 25

★報告事項

- 1 国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策の実施について
- 2 十勝酪農畜産対策協議会第5回全体委員会の報告について
- 3 令和4年度産地生産基盤パワーアップ事業の計画承認について
- 4 令和4年度産大根の本精算について
- 5 農産物集荷状況について
- 6 資金の貸付について
- 7 組合員の異動について

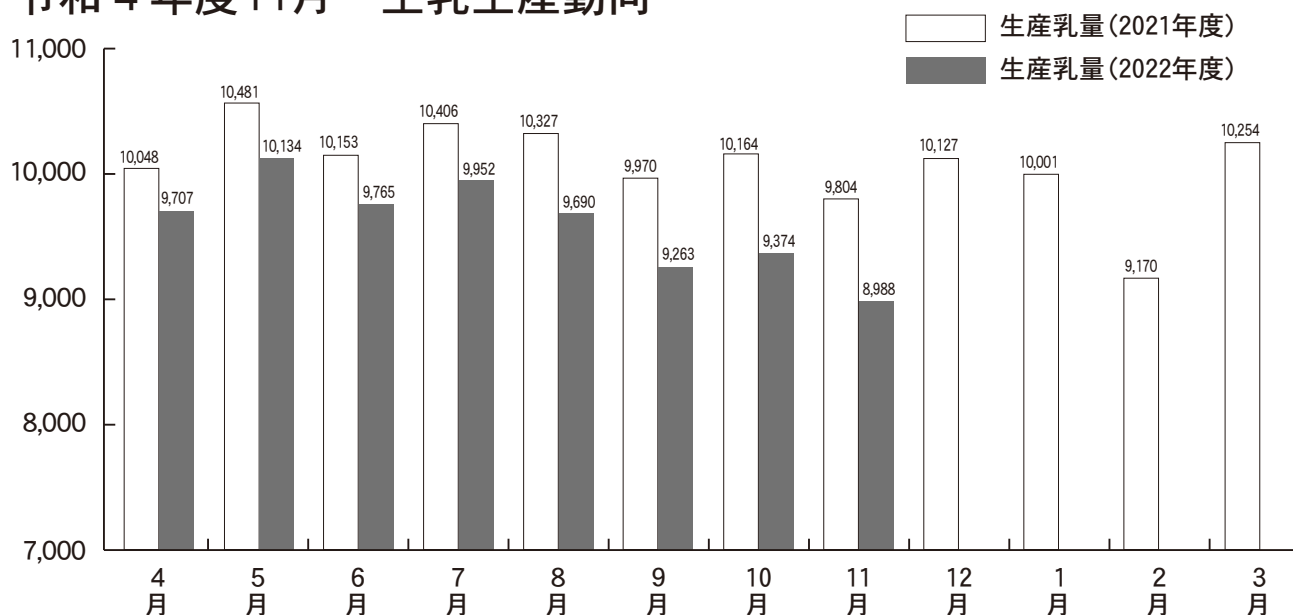
★協議事項

- 第1 令和5年度営農の取組について

協議

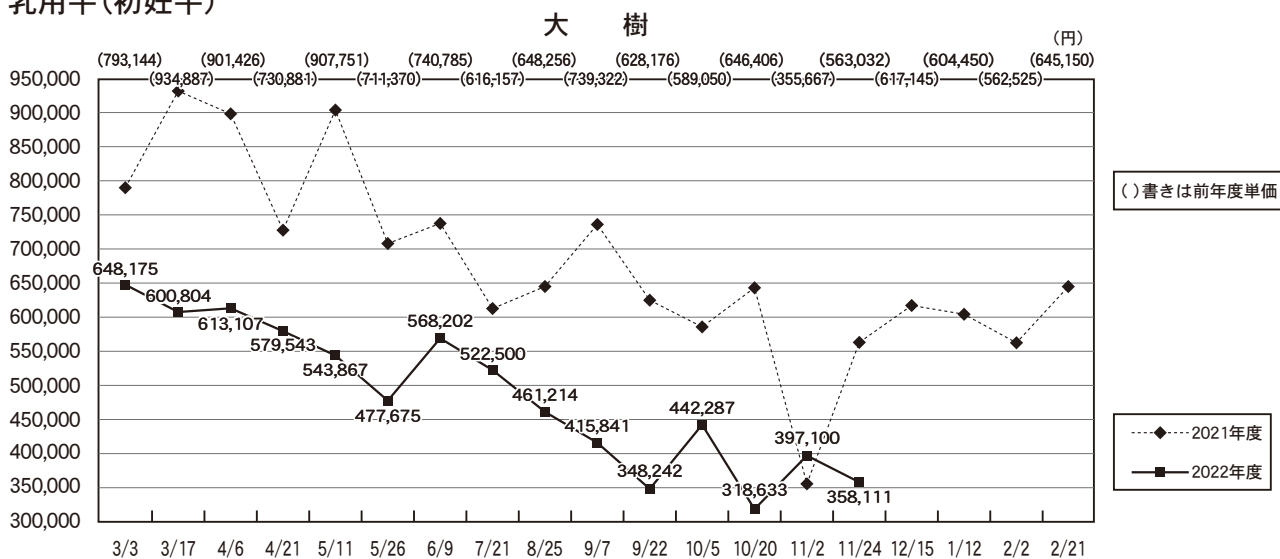


令和4年度11月 生乳生産動向

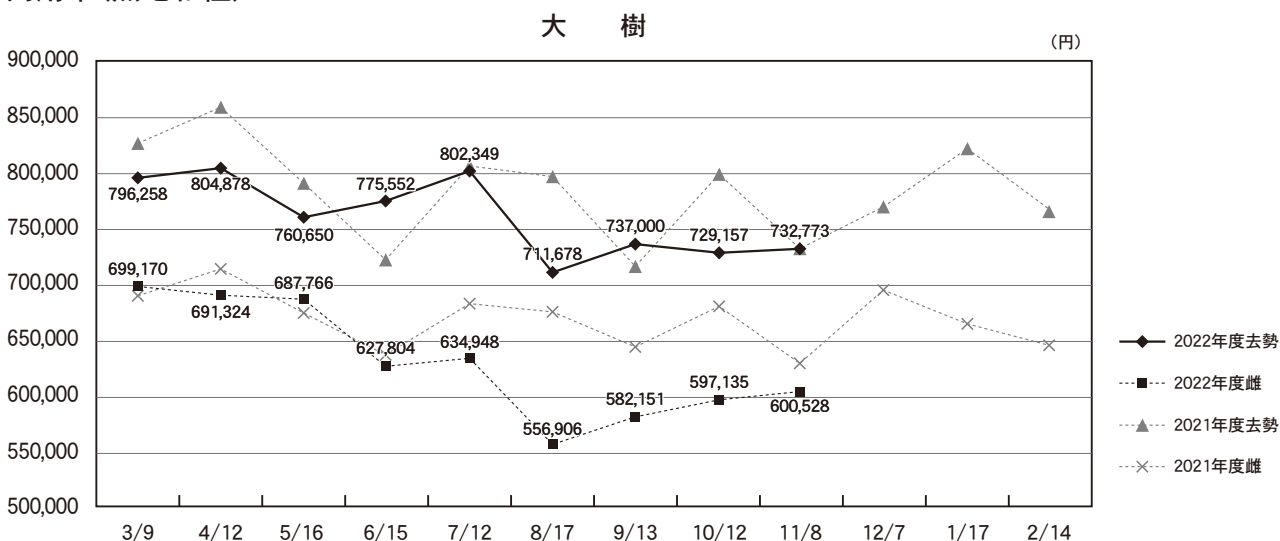


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名に大樹TMOカードが当たる

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

① 初詣で、受験を控える子の難関——を祈願した

④ 2つで1組の——茶わん

⑦ 客のためにワインを選びます

⑨ 師匠の下で学びます

⑩ 親から子へ受け継がれます

⑬ ——中期・末期

⑭ 年賀状によく書かれる2文字の熟語

⑰ 湖に張った氷に穴を開けて楽しむこともあります

⑱ 登山やキャンプで使う寝袋
⑲ コンコンと鳴く動物
⑳ 警察は原則として——不介入です

ヨコのカギ

① 正月に飲む薬酒。お——気分がなか
なか抜けない

② 髪の毛の渦巻き

③ エッフェル塔がある都市

⑤ 練り物やダイコンを煮込んで作りま
す

⑥ 自分より後に生まれた人はみんなこ
れ

⑧ 食事の管理や指導を行います

⑪ 去年はナスの——がとても良かった

⑫ 太鼓や木琴やトライアングルなどの
こと

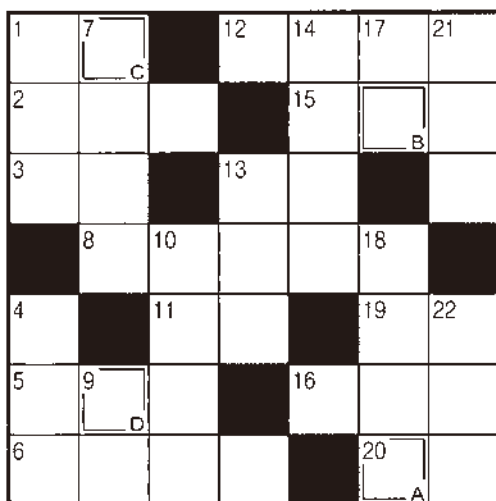
⑬ 毛筆でしたためることも

⑮ 大学入学共通テストは国公立大学だ
けではなく——大学も利用していま
す

⑯ 計画のこと。お得な宿泊——

⑲ 京都・三十三間堂の通し矢で新成人
が引きます

⑳ 一——、二タカ、三ナスビ



12月号の答え

A B C D E
ユ キ ア ソ ビ
でした。



当選おめでとうございます

当 選 者

(上島) 宮 嶋 敏 男さん
(上樹) 坂 本 松太郎さん
(上樹) 高 橋 秋 子さん
(下樹) 三 木 日向花さん
(芽武) さかい じゅんやさん
(萌和) 川 原 蔦 枝さん
(萌和) 村 崎 千 紗さん
(萌和) 米 谷 歩 さん
(豊里) 藤 内 堅 治さん
(豊里) 佐 藤 勉 さん

■ 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。
次にA↓Dの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

■ 締切り Ⅱ 1月10日(当日消印まで有効)

■ 届 出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

■ とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をは
つて下さい。

■ 賞 品 Ⅱ 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10
名の方に)

■ 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■ 12月号の応募者は12名で、全員が正解されました。抽選の結果、
次の方々が当選しました。当選した方には大樹TMOカードを
お届けいたします。

知りタイガーのJA虎の巻

知りタイガーのJA虎の巻

第29回
JA全国大会決議
JAグループの実践

【今回のテーマ】



JAグループがすすめる「国民理解の醸成」って、具体的にどういった取り組みなの？



林修先生のミニレッスン動画
みんなの食料安全保障(約7分)



農畜産物は値上げしにくい



JAグループサポーターの林修先生が、「国産国産」の意義や農畜産物の適正な価格形成の重要性について、分かりやすく解説する動画です。

私たちが生きていくうえで欠かせない「食」と、それを生産する「農」を未来につなぐため、その大切さについて国民全体で理解を深めていただくための取り組みです。



ロシアによるウクライナ侵攻等による影響で食料価格が世界的に上がったことで、食料の約6割を外国に頼ることの危うさが浮き彫りになりました。加えて、肥料や家畜のエサ、燃料など、農業生産に欠かせない資材の価格上昇が、生産現場に打撃を与えています。

こうした課題に対しJAグループは、「国」民が必要として「消費」する食料はなるべく「国」内で生「産」する「国産国産」という考え方の意義や、農畜産物を外的環境もふまえた適正な価格で販売することの重要性について、分かりやすい情報発信に取り組んでいます。

※2021年、カロリーベース



耕そう、大地と地域の未来。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



萌 和
村崎 千紗さん (11歳)



芽 武
さかい じゅんやさん (7歳)



三木日向花さん (6歳)